第七講　「ぬ」・「ね」の識別

★「識別」とは？

認識して区別する。見分けること。

（例）

勉強すなり。

勉強するなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「ぬ」・「ね」の識別

【識別対象】

1　「　　」の助動詞「ず」
2　「　　」「　　」の助動詞「ぬ」
3　ナ変動詞「　　・　　」の活用語尾
4　ナ行下二段動詞「**寝**（ぬ）」の一部

接続	形		形
基本形	ず		ぬ
未然形		ざら	
連用形		ざり	
終止形		○	
連体形		ざる	
已然形		ざれ	
命令形		ざれ	
活用の型	特殊型	ざ＋ラ変型	型

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　**ナ変動詞**の活用語尾

ね　**ぬ**

（例）雪のうへまで往**ぬ**べくは…

４　ナ行下二段動詞「**寝**（ぬ）」の一部⬇「　　　　　」と訳せる

（例）一人**ぬ**る夜、…

〔例題〕次の現代語訳は？

風吹きぬ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その①

「　　」（＝接続）確認

1　**未然形**＋［**ね　　ぬ**］＝「　　　」

（例）深くはあら**ね**ど、…

2　**連用形**＋［**ね　　ぬ**］＝「　　　」

（例）日暮れになり**ぬ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　時知らぬ山は…

②　駿河の国に至りぬ。

③　めづらしからぬ事のままに…

④　ことに思はねど、行けば…

⑤　とみなることにて、とどめはべりぬ。

⑥　もとの御かたちとなり給ひね。

⑦　我が心とせぬことにてはあれど、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　「老い心地に惑ひたまひぬ。」の傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　完了　　イ　打消　　ウ　断定　　エ　存在　　オ　過去

問三　次の傍線部の説明として最も適当と思われるものを、後の中から選べ。

「今は帰りね」といひければ、帰りにけり。

ア　助動詞「ず」の已然形　　イ　助動詞「ず」の命令形
ウ　終助詞　　エ　助動詞「ぬ」の已然形
オ　助動詞「ぬ」の命令形

問四　「あしかりぬべし」の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は完了の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
イ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
ウ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は伝聞推定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
エ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は断定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。
オ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その②

「　　」（＝活用形）確認

●『ぬ』

1　～ぬ＋連体形接続の語

→**連体**形＝「　　　」

「　　　」→ぬ＋体言

（例）まだ見**ぬ**物語の一を見て、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

～ぬ＋（終止形接続の語）「　　」。

終止形→「　　」

※ただし、文末の「ぬ」の時、**係助詞**と**疑問副詞**に注意！

文中に **係助詞「ぞ・なむ・や・か」** **疑問副詞（「いか系」「な系」）** がある→文末の「ぬ」は「　　」形→「　　」

（例）

同じ所にゐ**ぬ**めり。

腰なむ動かれ**ぬ**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●『ね』

1　～ね＋已然形接続の語

→**已然形**＝「　　　」

ねば **ね**ど（も） こそ～**ね**	**打消**「ず」の已然形

（例）多く聞こえ**ね**ば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

～ね＋｛命令形接続の語｝。

命令形＝「　　」

※ただし、文末の「ね」の時、**係助詞「こそ」**に注意！

（例）

絶えなば絶え**ね**。

さらにこそ信ぜられ**ね**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　午の時の下がりまで見えねば、…

②　「心も得ぬことかな」

③　日ごろは何ともおぼえぬ鎧が、…

④　秋来[a]ぬと目にはさやかに見え[b]ねども…

a＝

b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★確認は「上」からでも「下」からでも、わかる方からでＯＫ！

（例）左記に「**問一・問五**」からいくつか抜粋しましたので、確認してみましょう。

① 時知ら〔四段・未〕ぬ山は…

② 駿河の国に至り〔四段・用〕ぬ。

③ ことに思は〔四段・未〕ねど、行けば…

④ 午の時の下がりまで見え〔下二段〕ねば、…

⑤ 「心も得〔下二段〕ぬことかな」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　次の傍線部ア・イの「ね」について、例にならって文法的に説明せよ。

（例）　尊敬の助動詞「る」の連体形

「とくとく帰りね（ア）」

「君がすみかをそこと知らねば（イ）…」

ア＝

イ＝

問七　「都の内とも見えぬ所のさまなり」の傍線部の動詞の活用の種類・活用形を答えよ。

問八　次の傍線部「ぬ」はいずれも助動詞であるが、一つだけ種類の異なるものを選べ。

ア　秋になりぬ。

イ　打松おどろおどろしからぬほどに置きて、…

ウ　うちとけぬさまにものをつつましと思したる気色、…

エ　恋の煙こそ世には絶えせぬほのほなりけれ

オ　酔泣きのついでに、忍ばぬこともこそ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の傍線部の中で、意味の異なるものを一つ選べ。

ア　覚え侍らねども　　イ　侍らぬ程に　　ウ　思はざるに
エ　失せ給ひぬ　　オ　変はらずぞ

問十　次の傍線部「ね」の説明として最も適切なものを、後の中から一つ選べ。

「下りね」と、しひてのたまへば、…

ア　打消助動詞「ず」の已然形
イ　ナ変動詞「往ぬ」の連体形
ウ　念押しの終助詞「ね」
エ　完了助動詞「ぬ」の命令形
オ　希望を表す終助詞「ね」

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十一　次の傍線部の説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

①　「取りて参らむ」とて立ちぬ。

②　いま一声呼ばれていらへむと、念じて（＝我慢して）ねたるほどに、…

③　衣着（きぬ）ぬ妻子なども、さながら内にありけり。

④　させる能もおはせねば、ものをも惜しみたまへ。

⑤　頼まぬものの恋ひつつぞ経る。

⑥　ののしるうちに、夜更けぬ。

⑦　あはれ今年の秋もいぬめり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧　強からぬは女の歌なればなるべし。

⑨　吹き入れたるこそ、荒かりつる風のしわざとはおぼえね。

⑩　足音もせぬに、田畑は…

ア　打消の助動詞「ず」

イ　完了の助動詞「ぬ」

ウ　ナ行変格活用動詞の活用語尾

エ　ナ行下二段活用動詞「寝」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講

① 次の傍線部の説明として、最も適切なものを後の中からそれぞれ選べ。

かなはでやみぬ[a]と口惜しきに…
夜更くるまでね[b]ず、いといたううち嘆きて…
男、わづらひて、心地死ぬ[c]べくおぼえければ、…
あき間を射ね[d]ば手も負はず。

ア　打消の助動詞「ず」
イ　完了の助動詞「ぬ」
ウ　ナ行変格活用動詞の活用語尾
エ　ナ行下二段活用動詞「寝」

a＝　　b＝　　c＝　　d＝

② 「疾くまかり返りね」の傍線部の活用形を、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「文字のみな消えうせぬとき、…」の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　動詞　　　イ　完了の助動詞
ウ　打消の助動詞　　　エ　動詞の活用語尾

④次のｉ・ⅱの傍線部の文法上の意味として最も適切なものを、後のａの中からそれぞれ選べ。また、その活用形として正しいものを、後のｂの中からそれぞれ選べ。

ｉ「今年はいまだ郭公こそ聞かね。」
ⅱ「さらばまことも汚れぬべしとて、…」

ａ　ア　過去　　イ　打消　　ウ　存続　　エ　完了　　オ　強意
ｂ　ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

ｉ　ａ＝　　　ｂ＝
ⅱ　ａ＝　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　模範解答

〔例題〕 風が吹いた。

問一 ①　打消　②　完了　③　打消　④　打消
⑤　完了　⑥　完了　⑦　打消

問二 ア

問三 オ

問四 ア

問五 ①　打消　②　打消　③　打消　④　a　完了　b　打消

問六 ア　完了の助動詞「ぬ」の命令形
イ　打消の助動詞「ず」の已然形

問七 ヤ行下二段活用・未然形

問八 ア

問九 エ

問十 エ

問十一 ①　イ　②　エ　③　ア　④　ア　⑤　ア
⑥　イ　⑦　ウ　⑧　ア　⑨　ア　⑩　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第七講　模範解答・解説

〔解説〕

①　a　上が「やみ」でマ行四段活用の連用形、もしくは下が「と」で上にも係助詞がないことから終止形の「ぬ」。どちらから考えても完了の「ぬ」。よって、イが正解。

b　「ねず」＝「寝ない」。したがって、「寝る」と訳せる「ね」なので、エが正解。

c　「死ぬ」の一部分。よって、ウが正解。

d　上がヤ行上一段活用「射る」なので、未然形か連用形かここだけでは不明。よって、下を確認すると「～ねば」の形から打消と判断できる。よって、アが正解（したがって、上の「射」は未然形である）。

②　文末で、上に係助詞や疑問副詞がないので、終止形か命令形。上が「返り」でラ行四段活用の連用形であることから、傍線部は完了の助動詞「ぬ」の命令形。よって、正解はカ。

③　下が「とき」と体言なので、この「ぬ」は連体形。したがって、打消の助動詞「ず」である。よって、正解はウ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④

i　上が「聞か」でカ行四段活用の未然形なので、打消「ず」の已然形。もしくは、下を確認すると「。」なので、係助詞の有無を上をざっと見て確認。「こそ」があるので、打消「ず」の已然形。

ii　上が「汚れ」でラ行下二段活用のため、未然形か連用形かはここだけでは不明。よって、下を確認する。「べし」なので接続を考えると、この「ぬ」は終止形だとわかる。よって、完了の助動詞「ぬ」だが、さらに細かく意味を考えると、下に推量系「べし」がくっついているので、この「ぬ」は強意のほうがよい。選択肢を見ると強意があるので、これが正解（選択肢に「強意」がなく、「完了」しかなければ、完了が正解になる）。

〔解答〕

①　a　イ　　b　エ　　c　ウ　　d　ア

②　カ

③　ウ

④　i　a　イ　　b　オ　　ii　a　オ　　b　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。